



海の道むなかた館年報 vol.9

令和 2 年度の報告
～宗像市郷土文化学習交流館年報～



宗像市教育委員会

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市の博物館として、また、平成29年7月に世界文化遺産に登録された『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設としての役割を担っています。平成31年2月には、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破しました。これもひとえに、多くの皆さまのおかげだと思っています。感謝申し上げます。

宗像市は、海・川・山といった豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻み、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、基礎的な調査・研究を行い、その成果を展示や講座などを通じて、市民の皆さまに関心を持っていただき、かつ、楽しんでいただけるように心がけて参りました。そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学んでもらおうと、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験やものづくりをテーマとしたロボット工作や工芸体験などを提供して参りました。また、世界文化遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設として、沖ノ島の臨場感あふれる映像や各種展示を提供しています。その他、年間を通じて四季折々の事業を実施し、市内外の皆さまの交流の場としても活用いただいています。

これまでの当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの人々に親しまれ、愛されてきたことを実感しますとともに、当館の展示解説ボランティアであります地域学芸員の皆さまの献身的で精力的な活動に頭が下がる思いです。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大によって、当館も臨時閉館を余儀なくされるなどさまざまな影響を受けています。しかしながら、私たち館員一同は、未来を見据え、出来得ることを模索しながら、皆さまに愛される博物館を引き続き目指して取り組んで参ります。今後とも皆さまのご理解とご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和3年9月1日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在に至る経緯

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、玄海文化センター「アクシス玄海」という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。

アクシス玄海は、平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。

平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産に登録決定した際には、当館でパブリックビューイング（7月9日、インターネットによる実況中継）を実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。

平成31年2月、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破した。

平成31年4月、市の機構改革により館の運営及び事業の推進を担う部署が、それまでの郷土文化課から世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。

2. 沿革

平成4年（1992）	5月	玄海文化センター「アクシス玄海」開館
平成21年（2009）	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年（2010）	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年（2011）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年（2012）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
	9月	第1期地域学芸員養成講座（中級）の開講
平成25年（2013）	5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着手

	6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
	10月	第2期地域学芸員養成講座（初級）の開講
平成26年（2014）	3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
	11月	第2期地域学芸員養成講座（中級）の開講
平成28年（2016）	9月	国際記念物遺跡会議（イコモス）の視察調査
平成29年（2017）	7月	第41回世界遺産委員会のパブリックビューイングを実施 ※『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録 決定
平成30年（2018）	1月	沖ノ島VR映像（NTTドコモ提供）を導入
	3月	展示室に大型スクリーンを設置
	10月	第3期地域学芸員養成講座の開講
平成31年（2019）	2月	来館者数100万人を達成 景観マッピングビジョン、世界遺産解説コーナーを設置
	4月	市の機構改革により館運営と事業推進を担う部署が世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。
令和2年（2020）	3月	展示ホール内大型スクリーン映像内容更新
	3月	エントランスホール展示内容変更 世界遺産年表移設、新原・奴山古墳ジオラマ新設、沖ノ島出国宝レプリカ新設 （奈良三彩小壺・金銅製龍頭、カットグラス碗・金星指輪・三角縁神獣鏡）
	3月～6月	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館（3月28日から6月1日）
令和3年（2021）	1月	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館（1月15日から2月23日）

3. 開館時間

● 開館時間

9時～18時

● 休館日 ※臨時で休館又は開館する場合あり

- ・月曜日（月曜日が祝日・振替休日にあたるときは、その翌平日）
- ・12月29日～翌年1月3日まで

● 入館料

無料（特別展示等において有料の場合あり）

4. 館の施設概要

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）		
施設名	面積	摘要
【1階本館】		
風除室	33 m ²	ホールへの外気進入防止のための空間
世界遺産課事務室	70 m ²	総合案内、保存係及び活用係事務室
ホール	397 m ²	ショップ「宗像蒼の社」、世界遺産ガイダンス展示
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示等に使用
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財の展示や企画展に使用
荷解室	25 m ²	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きに使用
前室	14 m ²	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らすために使用
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵に使用
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3D映像の上映及びVR利用に使用
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化に関する体験学習等の実施に使用
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等に使用
倉庫	25 m ²	体験学習に用いる道具・材料等の収納に使用
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階西館】		
宗像市民図書館深田分館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を中心とした市民図書館
第2展示室	110 m ²	各種展示等に使用
講義室	134 m ²	各種講座等の開催に使用
館長室	33 m ²	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50 m ²	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業に使用
文化財課事務室	59 m ²	文化財係事務室
授乳室	3 m ²	授乳室
トイレ	40 m ²	男女トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	図書整理室
図書準備室	69 m ²	図書準備室
ボランティア控室	28 m ²	地域学芸員の会及び宗像歴史観光ボランティアの会事務局の活動に使用
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等を収蔵

郷土資料関係書庫	31 m ²	市史編さん関係資料等を収蔵
【地階】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器を設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等の保管に使用
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等を収蔵

5. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田 5 8 8 番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上 3 階 地下 1 階
敷地面積	11,082.02 m ²
用途地域	準都市計画区域内（平成 2 4 年 4 月 1 日現在）
既存建物床面積	3,973.26 m ²
既存建物建築面積	2,934.38 m ²
既存建物竣工	平成 4 年 3 月 3 1 日
現建物床面積	3,901.42 m ²
現建築面積	2,978.85 m ²

2 管理運営体制

1. 組織

(1) 令和2年度 館の機構

館長	西谷 正	
市民協働環境部	世界遺産課	保存係
		活用係
	文化財課	文化財係
		市史編さん室

(2) 地域学芸員

海の道むなかた館では、平成23年～平成30年度に実施した第1期、第2期及び第3期地域学芸員養成講座の修了者が市民ボランティア「地域学芸員」として、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担っている。

93人の地域学芸員が活動。市では、地域学芸員の館内での1回の活動に対して1,000円の特別旅費を支払っている。

また、さらなる活動の充実を図るため、令和2年11月に全地域学芸員で構成する「海の道むなかた館地域学芸員の会」を組織化し、運営委員会を中心に研修等の企画立案を行った。

○令和2年度活動状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	—	—	33	232	175	220	215	159	188	41	—	179	1,442

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

日時	内容	参加者数
10月26日(月)	展示解説研修	46
12月8日(火)	景観研修	28
3月9日(火)	館長講話	36
3月16日(火)	アンさんと学ぶやさしい日本語講座	29

○令和2年度地域学芸員 研修実施状況

2. 郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し審議する機関である。

(1) 委員

任期：令和2年3月26日～令和4年3月25日

	区分	氏名	役職等
1	学校教育及び社会教育の 関係者	松井 安彦	福岡県立少年自然の家「玄海の家」所長
2		高橋 茂	玄海東小学校教頭
3		井上 伸和	城山中学校教頭
4	家庭教育の向上に資する 活動を行う者	升谷 智子	海の道むなかた館地域学芸員
5	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
6		長友 貞治	宗像大社権禰宜
7	市民代表	田島 信之	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
8		坂本 和典	市民公募

※令和3年3月30日現在

(2) 会議

日程：令和3年3月30日（火）

会場：海の道むなかた館 講義室

議題：1 報告事項

- (1) 組織について
- (2) 来館者等について
- (3) 講座・イベントについて
- (4) 地域学芸員について
- (5) 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について

＊世界遺産のあるまちづくり計画

＊新規展示

- (6) 特別展について
- (7) 歴史文化遺産保存活用地域計画について

2 その他

3. 令和2年度決算

(単位：円)

海の道むなかた館予算	展示活用事業費	管理運営費
報酬	1,945,800	8,381,450
職員手当等	274,033	
共済費	343,251	29,000
賃金	—	—
報償費	143,080	—
旅費	1,534,560	224,785
需用費	714,753	10,115,566
役務費	82,035	577,158
委託料	2,082,300	14,520,696
使用料及び賃借料	22,200	561,245
工事請負費	—	2,348,500
備品購入費	—	—
負担金・補助及び交付金	10,000	—
公課費	—	6,600
決算額	7,152,012	36,765,000

3. 展示

1. 常設展示室

「海の道」をテーマに宗像地域からの出土品や資料を展示、紹介している。特に、世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設として、沖ノ島の祭祀遺跡や構成資産を紹介する7×18mの大型スクリーンに映し出される映像は大迫力で充実している。



○展示物

【ヒトの来た道】

時代：旧石器時代～縄文時代

展示品：旧石器時代 石器の材料（各地の黒曜石、サヌカイト）
 ナイフ形石器（池浦トボシ遺跡）台形石器（平等寺長浦遺跡）
 細石核（平等寺原遺跡）
 縄文時代 曾畑式土器（さつき松原遺跡）石斧、すり石、
 鐘崎式土器（鐘崎（上八）貝塚）、浅鉢（富地原深田遺跡）等



【稲作が渡った道】

時代：弥生時代

展示品：弥生土器（甕：大井三倉遺跡）（壺：久原遺跡）石包丁、
 ドングリ類（光岡長尾遺跡）、炭化米（須恵クヒノ浦遺跡）
 銅剣・銅矛（久原遺跡）、紡錘車等



【最先端技術が渡った道】

時代：古墳時代

展示品：土師器（甕、手づくね土器、台付鉢等：富地原川原田遺跡）
 移動式竈（大島大岸遺跡）、須恵器（甕、高杯等：大井三倉遺跡）



【半島・大陸との交流の道】

時代：古墳時代

展示品：鉄鉗（朝町山ノ口遺跡）、鉄滓（野坂一町間遺跡）、
 埴輪（人物、円筒：久原澤田古墳群Ⅱ区3号墳）、
 コップ形土器（久原瀧ヶ下遺跡）勾玉・管玉（東郷高塚古墳）
 金銅製飾履（牟田尻中浦古墳群レプリカ）等



【拡大する海外交流の道】

時代：奈良時代～室町時代

展示品：鬼瓦（武丸大上げ遺跡）陶磁器（久原遺跡出土）等



【街道と海女の道】

時代：安土・桃山時代～現代

展示品：陶磁器（屋号銘入り徳利、染付碗：唐津街道赤間宿跡）等
海女の道具一式（福岡県指定有形民俗文化財）等



2. 特別展示室

国宝・重要文化財を含め、各地域の貴重な文化財を鑑賞することができる展示室で、年に数回さまざまなテーマによる特別展示を開催する。

【沖ノ島祭祀前夜】

時代：弥生時代

弥生土器、磨製石剣、磨製石鏃（田久松ヶ浦遺跡）
土笛（光岡長尾遺跡）等



【特別展示室】

3. 特別展

「古代ムナカタ海人の世界」

会期：令和2年9月19日（土）～11月29日（日）

入館料：無料

主催：宗像市教育委員会

共催：宗像市

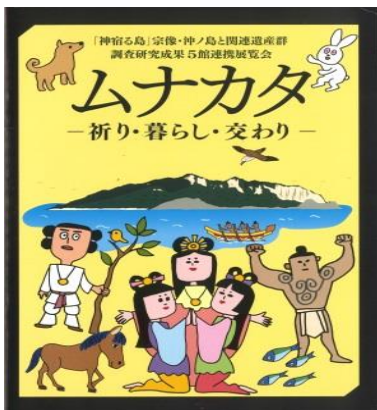
協力：宮若市教育委員会、宗像大社神宝館、九州国立博物館、
福津市複合文化センター歴史資料館、九州歴史資料館、
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

概要：宗像大社神宝館・九州国立博物館・福津市歴史資料館・九州歴史資料館と連携して「ムナカタ祈り・暮らし・交わり」を開催した。これは各施設で宗像に関する特別展を行うもので、海の道むなかた館では浜宮貝塚を中心とした展示を行った。海の道むなかた館では期間中36,879人の入館者数を記録した。

○記念イベント ムナカタの謎にせまる！ 5館周遊クイズラリー
令和2年9月1日（火）～12月23日（水）

ムナカタ - 祈り・暮らし・交わり -

特別展会場



4. 企画展

(1) 日伊文化交流作品展

内容：イタリア レッジョ・エミリア市との交流を通じた絵画を展示

会期：令和2年12月19日（土）～3年1月11日（月・祝）

5. 第2展示室

なし

6. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。その他に、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

(1) 3D映像

①『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』（上映時間：11分）

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値をわかりやすく解説する。



②「宗像大社の神事—人々の信仰と祈り—」（上映時間：13分）

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



③「沖ノ島の自然—太古の姿をそのままに—」（上映時間：8分）

沖ノ島全島は、1926年（大正15年）に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの大繁殖地となっていることなどを紹介する。



④アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」（梓書院）を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。（フィクション）

第1話—「玄界灘の守り神」（上映時間：9分）

第2話—「海人の都ムナカタ」（上映時間：7分）

第3話—「ムナカタとヤマトをつないだ海人」（上映時間：13分）

第4話—「玄界灘の軍神」（上映時間：10分）

第5話—「海の民ムナカタ」（上映時間：11分）



⑤アニメ「海の民 ムナカタ」総集編（上映時間：18分）

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。

令和2年度3Dシアター視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	—	—	—	—	1,028	932	955	1,385	720	63	—	20

合計：5,103人

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2Dにて実施

(2) VR

沖ノ島の全貌を8Kで撮影。株式会社NTTドコモから無償貸与を受け、平成30年1月から視聴開始。専用のゴーグルをつけて仮想現実体験ができる映像を提供していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として使用を中止した。

4 体験学習

1. 古代体験学習

原則、毎週土・日曜日、祝日、イベント等で実施

○勾玉づくり

内容：爪でも削れるやわらかい石（滑石）を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。イベント等では、ピンクや黒の石も用意し、選べる勾玉づくりを開催した。

料金：200円

○古銭鑄造体験

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭を作る。

料金：200円

○火おこし

内容：マイキリという火おこしの道具を使用して、火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オーブン粘土を使用して、土笛を作る。

料金：200円

○古代アートでエコバッグづくり

内容：古代の文様や装飾古墳について学び、文様スタンプを押して、布製エコバッグを作る。

料金：200円

令和2年度 古代体験学習参加人数 月別集計表（定例及び団体の体験）

（単位：人）

	勾玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		エコバッグづくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6月	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7月	199	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8月	24	—	14	—	3	—	—	—	—	—
9月	24	80	8	—	3	—	—	—	—	—
10月	42	20	11	—	5	—	—	—	—	—
11月	17	103	11	—	10	—	—	—	—	—
12月	43	41	5	—	—	—	—	—	—	—
1月	6	—	—	—	2	—	—	—	—	—
2月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3月	29	—	19	—	2	—	—	—	—	—
小計	397	244	68	—	25	—	—	—	—	—
合計	641		68		25		—		—	

※勾玉づくりには選べる勾玉づくりも含む

※表中「無料」は、市内小・中学校の社会科見学での体験

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

※土笛づくり、エコバッグづくりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため非実施

5 講座

1. 館長講座

概要：令和2年度は「烏丸鮮卑東夷伝の考古学」をテーマにわかりやすく解説した。

回数：11回

場所：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、むなかた電子博物館での映像配信により開催した。

回	演題
1	鮮卑
2	東夷伝（1）挹婁
3	東夷伝（2）東沃沮
4	東夷伝（3）夫餘
5	東夷伝（4）高句麗
6	東夷伝（5）濊
7	東夷伝（6）韓① 馬韓
8	東夷伝（6）韓② 弁韓
9	東夷伝（6）韓③ 辰韓
10	東夷伝（7）倭人 1. 暮らし
11	東夷伝（7）倭人 2. 邪馬台国への道

2. 出前講座（ふるさとふるふる講座・ルックルック講座 他）

- ・内容：宗像地域の歴史や世界遺産などを、映像やパネル等の資料や体験などを交えながら学ぶ。
- ・受講団体数：4件
- ・受講者数：159人

団体	学年	講座	開催日	内 容	受講者数
玄海小学校	3年	ふる	10月8日（木）	みあれ祭について	17
	6年	他	10月23日（金）	宗像歴史ガイド①	14
	6年	他	11月2日（月）	宗像歴史ガイド②	14
福岡県立宗像中学校	1年	ルック	10月28日（水）	宗像地域の歴史	80
福津市立勝浦小学校	6年	他	6月19日（金）	世界遺産について①	17
	6年	他	10月15日（木）	世界遺産について②	17

・ふる：ふるさとふるふる講座（市内小学校）、 ・ルック：ルックルック講座（一般）、

・他：（ふるふる講座・ルックルック講座以外）

6 各種イベント

1. ゴールデンウィーク特別体験学習

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2. むなかた歴史クラブ

日程・内容：

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定を変更し、次のとおり実施した。

開催日	タイトル	内容
7月12日（日）	地域を知る！（第1回）	地域（深田地区）の方から話を聞き、実際に葦木神社等を訪れて地域の歴史を学んだ。
8月9日（日）	地域を知る！（第2回）	
10月4日（日）	遺跡を巡る！	新原・奴山古墳群等を見て。
12月6日（日）	山城をゆく！（講義編）	山城の歴史や宗像の山城等について学んだ。

3. 夏の課外授業（夏休み特別体験学習）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4. 宗像大社のみあれ祭陸上神幸

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

5. むなかたものづくり展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験イベントやワークショップを分散して開催した。

体験名【実施協力団体】	内容	開催日	参加人数
イギリス風ステンドグラス体験 【粋工房株式会社】	ステンドグラス風の写真立てを作る。	11月3日 （火・祝）	23人
ミニジオラマやミニチュアフードをつくろう！ 【新王様もけい】	本物そっくりにするミニチュアフードや線路のある小さな風景。製作後は繋げて列車を走らせる。	11月8日 （日）	23人
パステル彩色画と虹色スクラッチ体験 【楽夢茶】	【パステル彩色画】筆で描いた下絵にパステルで色をつける。 【虹色スクラッチ】用紙を削って虹色の線画を描く。	11月15日 （日）	6人

組子の麻の葉コースターづくり体験 【時安建具店】	麻の葉模様のコースターを組子で作る。	11月15日 (日)	24人
ハイブリッドカーを作って走らせよう！ 【トヨタ自動車九州モノづくり教室】	モーターと発電機の仕組みを学んだ後、ハイブリッドカーの模型を作り試走させる。	11月22日 (日)	32人
LED電飾講座 【エレキット（株式会社イーケー・ジャパン）】	電子工作キットメーカーの技術者がLEDの基本知識からはんだ付けによる実践的な配線方法を学ぶ。	11月23日 (月祝)	21人
iPadで動画を作ろう！【むなかた電子博物館】	iPadを使って実際に動画を作る。	11月29日 (日)	中止
錫でオリジナル印鑑をつくろう！ 【芦屋釜の里】	好きな文字を彫った型に溶けた錫を流し込んで、自分だけのオリジナル印鑑を作る。	11月29日 (日)	41人
木のオリジナルプレートをつくろう！ 【工房 茶輪子】	プレートに名前と好きなオーナメント（動物や花など）を木工用ボンドで貼り、自分だけのオリジナルプレートをつくる。	12月06日 (日)	15人
とんぼ玉でアクセサリーづくり 【Glass atelier Lin】	好きなトンボ玉に紐やビーズを通して、アクセサリーのペンダントを作る。	12月06日 (日)	16人
ストーンアート体験 【福岡県立少年自然の家「玄海の家」】	「玄海の家」の前の海浜にあった石から好きなものを1つ選びその形を生かして絵具やペンで色をつけたり千代紙を貼って作品をつくる。	12月13日 (日)	26人
お守り飾りを作ろう！ 【福岡教育大学松久研究室】	毛糸と棒を使って願いを込めたお守り飾りを作る。	12月20日 (日)	15人

6. 作って・学ぼう！世界遺産

「世界遺産楽習帳」を使って世界遺産について学ぶワークショップを開催した。

体験名【実施協力団体】	内容	開催日	参加人数
古代のガラスアクセサリーづくり 【粋工房】	古代のデザインのアクセサリーをつくる。	3月14日 (日)	10人
世界遺産クエスト	海の道むなかた館から宗像大社辺津宮周辺を歩いて謎解きに挑戦する。	3月21日 (日)	13人
みあれ祭の御座船（玩具）づくり 【宗像くすのき玩具】	好みの彩色を施してオリジナルの御座船をつくる。	3月21日 (日)	10人

古代の指輪づくり	古代の指輪づくりを通じて古代の人の技術や工夫を学ぶ。	3月28日 (日)	10人
ミニ古代鏡づくり	古代の鏡のミニレプリカ（合金製）をつくる。	3月28日 (日)	10人

7. ミュージアムコンサート

館への集客と文化振興のため、NPO 法人コラボむなかたと協働で宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を縮小して実施した。

(1) Vol. 43 ～心を癒す弦の響き～ 石井 弾 ヴァイオリンコンサート

日 時：令和2年9月25日（金）18：30～19：30

出演者：【ヴァイオリン】石井 弾 【ピアノ】野口 志保

参加者数：35人

(2) Vol. 44 ～哀愁のハーモニカ～

日 時：令和2年10月16日（金）18：30～19：30

出演者：【ハーモニカ】矢次 保子

参加者数：67人

(3) Vol. 45 ～2ヶ月連続企画「秋ジャズ」第2弾～

日 時：令和2年11月20日（金）18：30～19：30

出演者：【ウッドベース】松下 一弘 【ピアノ】松元 沙綾 【クラリネット】志波 未有

参加者数：51人

(敬省略)

7 他のイベントとの連携

市内にある施設での事業連携を積極的に行い、館のPRや郷土文化の紹介を行った。

1. 空の駅イベント

福岡空港国内線ターミナルで世界遺産のPRや勾玉づくり体験を行った。

日程：令和2年12月11日（金）、12日（土）、13日（日）

場所：福岡空港国内線3階催事場

参加人数（勾玉づくり体験）：80人

8 世界遺産

1. 各構成資産等への来訪者数

(1) 令和2年度月別来訪者数

(単位：人)

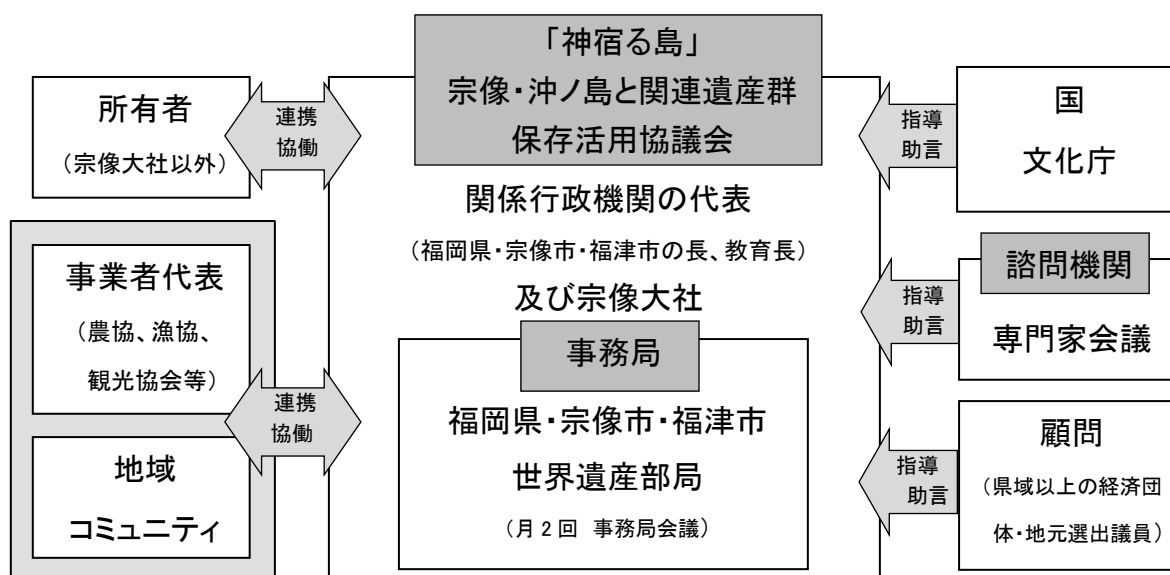
	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山古墳群
4月	18,532	89	584	425	1,208
5月	23,575	137	313	197	1,441
6月	22,285	472	767	565	971
7月	27,271	812	1,169	896	961
8月	42,627	1,008	1,971	1,625	1,125
9月	33,429	1,850	1,986	1,557	1,215
10月	43,048	2,850	2,285	3,329	2,032
11月	57,768	3,525	2,690	2,296	1,600
12月	47,956	1,999	1,490	1,212	658
1月	179,026	919	1,207	505	681
2月	51,968	1,365	1,182	1,029	921
3月	36,790	1,457	1,511	1,361	1,893
計	584,275	16,483	17,155	14,997	14,706

(2) 年度別来訪者数

(単位：人)

	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山古墳群
H30	857,027	78,016	33,593	32,798	18,748
R元	871,691	43,793	30,417	29,540	18,093
R2	584,275	16,483	17,155	14,997	14,706

2. 保存活用の体制



3. 保存と活用の取り組み

(1) 保存管理

①学術調査研究事業

◆「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群特別研究事業【協議会】

国際検討委員会の内容

第1回	平成30年度	古代東アジアの航海と宗像・沖ノ島
第2回	令和元年度	古代東アジアにおける地域間交流の信仰・祭祀
第3回	令和3年度（予定）	古代東アジアの海洋信仰

※第3回を令和2年度予定であったが、新型コロナウイルス蔓延防止対策で延期

◆沖ノ島出土品、所蔵文書の調査【協議会】

②各種計画に基づく保存管理と公開活用

◆包括的保存管理計画【協議会】

◆国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画【宗像市】

◆国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画【宗像市】（現在策定中）

◆世界遺産のあるまちづくり計画【宗像市】

③構成資産モニタリング【宗像市】

◆モニタリング…沖ノ島海域及び史跡の定期調査を年10回実施。

構成資産及び緩衝地帯の調査を実施し、年次報告書を作成して文化庁に報告

6年に1回のユネスコへの定期報告

◆遺産影響評価…構成資産周辺に係る開発事業について、遺産への影響の有無を調査。影響のおそれがある案件については関係者と協議、指導

◆構成資産内の史跡の構成要素（遺跡、建築物、工作物、土木構造物）、社叢及びオオミズナギドリ の巣穴などの悉皆調査

※例年実施している、宗像市世界遺産市民の会等による構成資産の見回りや清掃活動は、新型コロナウイルス蔓延防止対策で中止

(2) 公開活用

①来訪者対策

◆コンテンツ、媒体の制作…世界遺産の資料や情報を収集・発信する「宗像アーカイブス」の構築。 PR番組や多言語対応映像の制作【協議会】

◆国宝レプリカ、古墳群ジオラマによる体感型展示を海の道むなかた館へ設置【協議会】

②啓発・PRイベント【協議会】

◆海の日世界遺産めぐり…海の日を本遺産の記念日として、啓発イベントを開催。講座、クイズ、読み聞かせなどの多彩なコンテンツをオンラインで実施

◆世界遺産公開講座…毎月1回、計8回をオンラインで配信

◆世界遺産調査研究成果5館連携展覧会「ムナカタ～祈り・暮らし・交わり」開催（九州国立博物館、九州歴史資料館、宗像大社神宝館、福津市複合文化センター歴史資料館、海の道むなかた館）

◆福岡空港での展示（3/8～4/30）

③その他

◆宗像大社辺津宮周辺の無電柱化（令和3年3月完了予定）【宗像市】

9 むなかた電子博物館

1. 月間ページビュー

(単位：件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	5,117	9,643	8,922	10,167	6,335	8,042	7,244	6,579	4,834	7,800	7,107	7,380	89,170
H30	7,927	7,896	9,180	3,758	6,345	4,395	5,315	4,775	3,365	4,282	3,674	3,413	64,325
R元	4,596	5,873	5,320	5,313	5,241	5,605	6,018	8,099	8,395	9,689	7,195	9,482	80,826
R2	7,315	12,787	10,778	10,897	11,342	12,379	12,918	12,228	10,941	16,030	18,365	13,899	149,879

*全国からのアクセス増加、「農業に使われていた道具」へのアクセス増加、Yahoo キッズからの検索アクセス増加等により、大幅なページビュー増となった。

2. 事業の内容

①館長講座の動画作成

海の道むなかた館で開催されている館長講座（全10回）の動画を作成した。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は海の道むなかた館での開催は中止

②“むなかた歴史観光”のコンテンツ作成

宗像歴史観光ボランティアの会と連携し、「宗像大社」、「宗像大社神宝館」、「鎮国寺」、「大島」の観光の視点も取り入れた紹介動画を作成した。

③“むなかたのホタル”のコンテンツ作成

むなかた「水と緑の会」と連携し、「宗像市に生息するホタル」のコーナー作成や、これまで紙ベースで行っていたホタル調査票をWEB化し、WEBから気軽に観察情報を収集できる仕組みを構築した。

④“特集「水辺の観察」”のコンテンツ作成

むなかた「水と緑の会」と連携し、同会が行っている「水辺教室」の様子を取材し、30年以上続けられている環境教育を紹介するコンテンツを作成した。

⑤“むなかたの星空”のコンテンツ作成

宗像ユリックス・プラネタリウムと連携し、北斗の水くみ現象の解説動画を作成するなど、むなかたの星空について集約したコンテンツを作成した。

10 文化財保護事業

1. 開発事前審査

令和2年度、本市では埋蔵文化財の有無にかかる事前審査を905件受理した（表1）前年度比約86%であるそのうち29件について試掘・確認調査を行った。これに基づき31件の文化財保護法第93条第1項に基づく届出があり記録保存等の発掘調査に至り文化財保護法第99条第1項を適用したのは4件（稲元古墳群、石丸水谷遺跡、光岡六助遺跡、浜宮貝塚）である。

（表1）過去5年度の開発事前審査件数

（単位：件）

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事前審査	945	1,037	1,143	1,050	905
試掘・確認調査	13	17	36	26	29
93条1項（土木工事等のための発掘に関する届出）	27	21	28	36	31
94条1項（国の機関等が行う発掘に関する通知）	1	0	1	0	2
99条1項（地方公共団体による発掘の施行）	3	3	1	5	4

2. 文化財の指定・現状変更

現状変更8件のうち文化庁許可が2件、市教育委員会が6件である（表2）

（表2）令和2年度指定文化財現状変更一覧

指定名称	変更内容	許可権者
国天然記念物 沖の島原始林（沖ノ島）	環境調査	宗像市
国史跡 宗像神社境内	斎館建替え	文化庁
	摂末社保存修理	宗像市
	社叢植樹	文化庁
	電線設置	宗像市
	特別展看板設置	宗像市
	石造板・柵撤去	宗像市
国史跡 田熊石畑遺跡	遠路整備、鋼製柵移設、公園灯および水栓設置	宗像市

3. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況

史跡田熊石畑遺跡を整備した田熊石畑遺跡歴史公園（いせきんぐ宗像）には、令和2年度中に26,694人が来園した。コロナ渦に伴う緊急事態宣言の発出などの理由で来園者が前年度に比べて約20%減少した市民を対象とした各種イベントも中止になることが多かったものの11月から12月の土・日曜日、祝日には5周年記念イベントとして村っ子づくり歴史体験学習を開催しあわせて歴史クイズラリーも実施した。

(単位：人)

月	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	1,423	1,901	2,641
5月	1,785	2,081	2,263
6月	1,971	2,271	1,719
7月	10,276	12,254	1,444
8月	850	994	1,320
9月	1,145	1,555	1,621
10月	1,997	2,106	2,837
11月	2,058	3,088	2,870
12月	1,407	1,341	3,064
1月	1,758	1,565	1,643
2月	1,361	1,694	2,307
3月	2,098	2,606	2,965
合計	28,129	33,456	26,694

(1) ポールウォーキング

日程：令和2年4月6日、5月6日、6月1日、7月3日、8月3日、9月7日、10月5日、11月2日、12月7日、令和3年1月11日、2月1日、3月1日 他

内容：園内のウォーキング

参加人数：408人

(2) かけっこ教室

日程：令和2年4月3日、6月5日、7月7日、8月7日、9月4日、令和2年1月15日、2月5日 他

内容：小学生以下を対象とした運動教室

参加人数：694人

(3) いせきんぐ宗像5周年記念イベント

日程：令和2年11月8日（日）～令和3年1月31日（日）

※土・日曜日、祝日のみ開催。また、新型コロナウイルス対策のため1月14日以降は中止。

内容：歴史クイズラリーなど

参加人数：501人

(4) 村っ子づくりいせきんぐ事業

日程：毎週火曜日及び金曜日15時～17時（ただし、祝日と振替休日、学校休み期間は除く。）

※新型コロナウイルス対策のため令和2年4月～10月は中止

内容：寄合処で市内小学生の宿題指導、見守り、室内遊び、外遊び等を実施

※学生ボランティアも参加 参加人数：158人

1 1 新修宗像市史編さん事業

本市では「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、新修宗像市史編集委員会と協働で新修宗像市史を編集し、『新修宗像市史 教育・文化・まちづくり』と『宗像市史研究』第4号を刊行した。

1. 宗像市史編さん審議会

宗像市附属機関設置条例に基づき、学識経験者、市民活動団体代表、市民代表等で構成する委員が、市史編さんの基本方針に関し必要項目を審議する機関である。

○宗像市史編さん審議会 委員名簿

任期：令和2年9月1日～令和4年8月31日

職 名	氏 名	役職等	区 分
委員長	西谷 正	海の道むなかた館館長	学識経験者
副委員長	伊崎 俊秋	九州歴史資料館企画主幹	
委 員	竹川 克幸	日本経済大学教授	
委 員	森 弘子	公益財団法人古都大宰府保存協会	
委 員	古川 健一	福岡教育大学教授	
委 員	清木 達子	宗像歴史観光ボランティアの会	市民活動団体
委 員	辻 洋子	むなかた歴史を学ぼう会	
委 員	片岡 俊輔	市民公募	市民代表

※令和3年3月31日現在

2. 新修宗像市史編集委員会

「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、市史編さんに必要な資料の調査及び収集を119件行い、執筆及び編集等に関する必要事項の協議を10回開催した。

○新修宗像市史編集委員会 委員名簿

職 名	氏 名	役職等	備 考
委員長	西谷 正	海の道むなかた館館長	総監修
副委員長	森 弘子	公益財団法人古都大宰府保存協会	民俗・美術・建築部会長
委 員	竹川 克幸	日本経済大学教授	近世部会長
委 員	桑田 和明	元福岡県立図書館職員	中世部会長
委 員	時里 奉明	筑紫女学園大学教授	近代部会長
委 員	伊崎 俊秋	九州歴史資料館企画主幹	原始・古代部会長、事務局長
委 員	中原 剛	地域史研究家	現代部会長、会計
委 員	上野 禎一	福岡教育大学名誉教授	自然部会長、監査

令和3年3月31日現在

1 2 大島交流館

世界遺産である「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、大島の歴史と自然、沖ノ島との関わり、大島の人たちの暮らしなど、大島のさまざまな魅力について、映像や写真、パネル展示などを通じて紹介する。

1. 入館者数

○年間（月）入館者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29				3,065	2,924	3,045	2,587	2,735	1,400	1,156	1,712	2,255	20,879
H30	2,635	3,071	2,630	2,466	3,322	2,894	2,412	1,820	1,413	1,143	1,066	1,789	26,861
R1	1,986	3,095	2,068	2,082	2,180	1,902	2,318	1,839	1,164	1,007	1,171	1,118	21,930
R2			1,092	1,600	1,969	1,731	2,431	2,415	1,218	135	101	1,551	14,243

※大島交流館は、平成29年7月15日開館

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

2. 大島交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市大島901番地4
階数構造	鉄筋コンクリート造 地上3階
敷地面積	684.22 m ²
用途地域	指定なし
既存建物床面積	689.48 m ²
既存建物建築面積	262.96 m ²
既存建物竣工	平成5年3月
現建物床面積	689.48 m ²
現建築面積	262.96 m ²

1.3 海のむなかた館統計

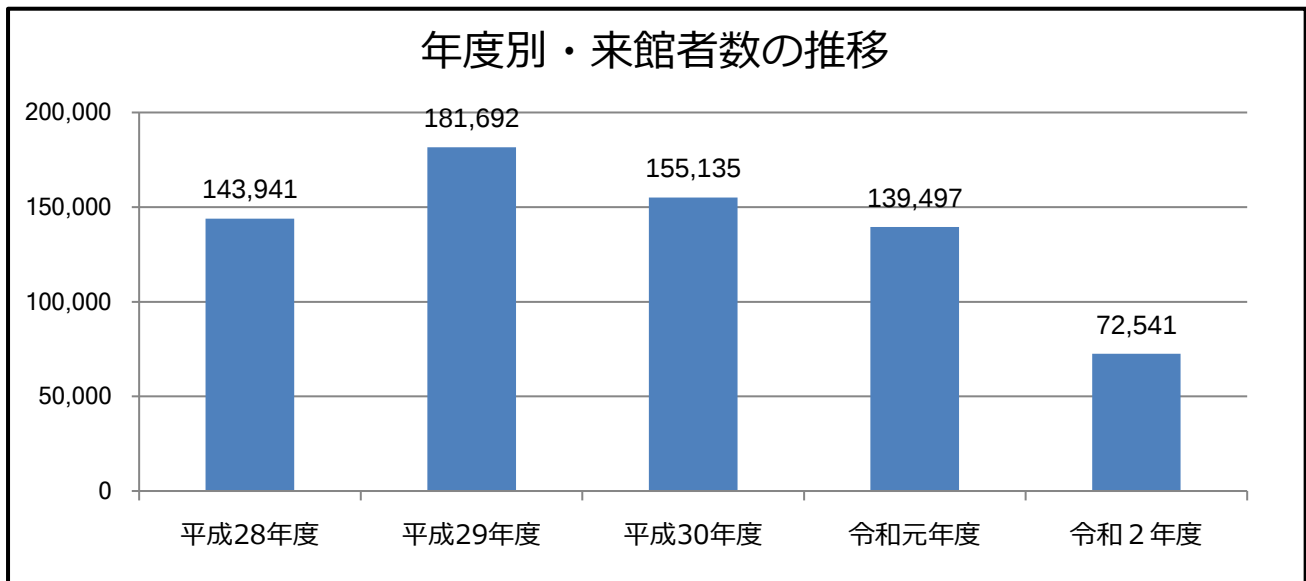
1. 令和2年度 月別入館者数

(単位：人)

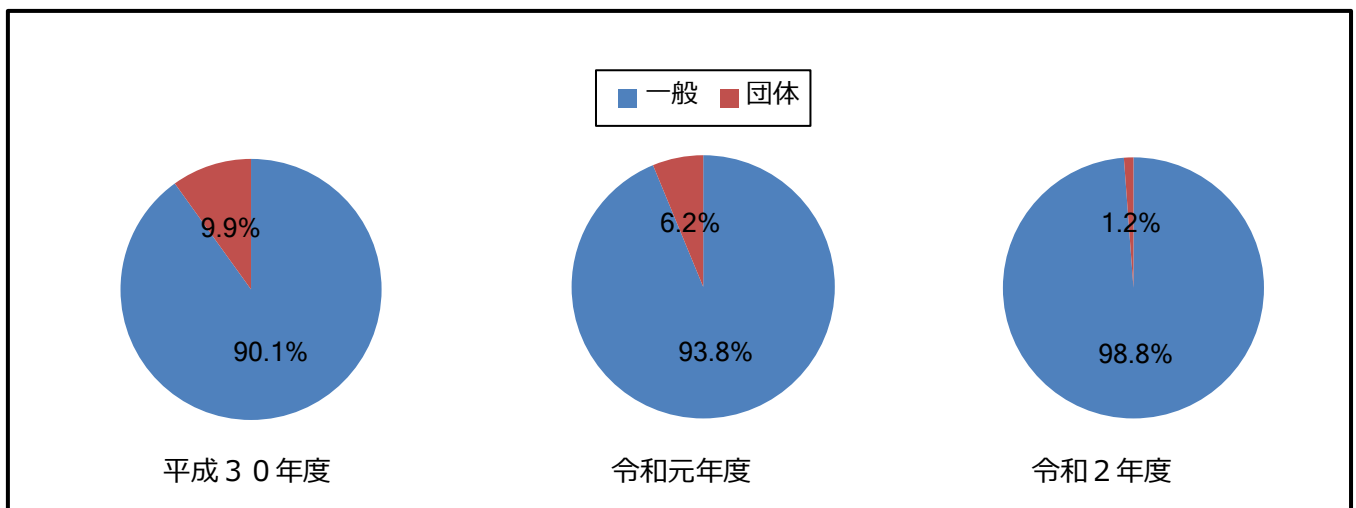
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	5,465	7,873	8,420	8,977	10,934	10,160	8,188	2,220	1,466	8,838	72,541

※開館以来の累計入館者数 1, 2 2 8, 7 3 8 人 (令和3年3月31日現在)

2. 年度別・入館者数の推移



3. 年度別・一般および団体の入館者数の割合



1. 市内小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	玄海小学校	6年	7月7日(火)	16
		6年	7月15日(水)	16
	玄海東小学校	6年	10月6日(火)	19
	河東西小学校	6年	9月10日(木)	84
	赤間小学校	4年	10月28日(水)	86
		4年	10月29日(木)	85
	大島小学校	5・6年	11月20日(金)	15
	地島小学校	4・5・6年	11月27日(金)	11
	日の里東小学校	6年	12月11日(金)	40
中学校	福岡県立宗像中学校	1年	11月26日(木)	80
合計				452

※ 新型コロナ感染拡大防止のため小学校4校来館中止となる。

2. 市外小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	福津市立勝浦小学校	6年	10月22日(木)	19
合計				19

3. 団体入館者数

○旅行会社・ツアー

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	0	0	0	2	1	1	3	0	1	0	8
人数	0	0	0	0	0	33	25	17	135	0	17	0	227

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館で受入中止

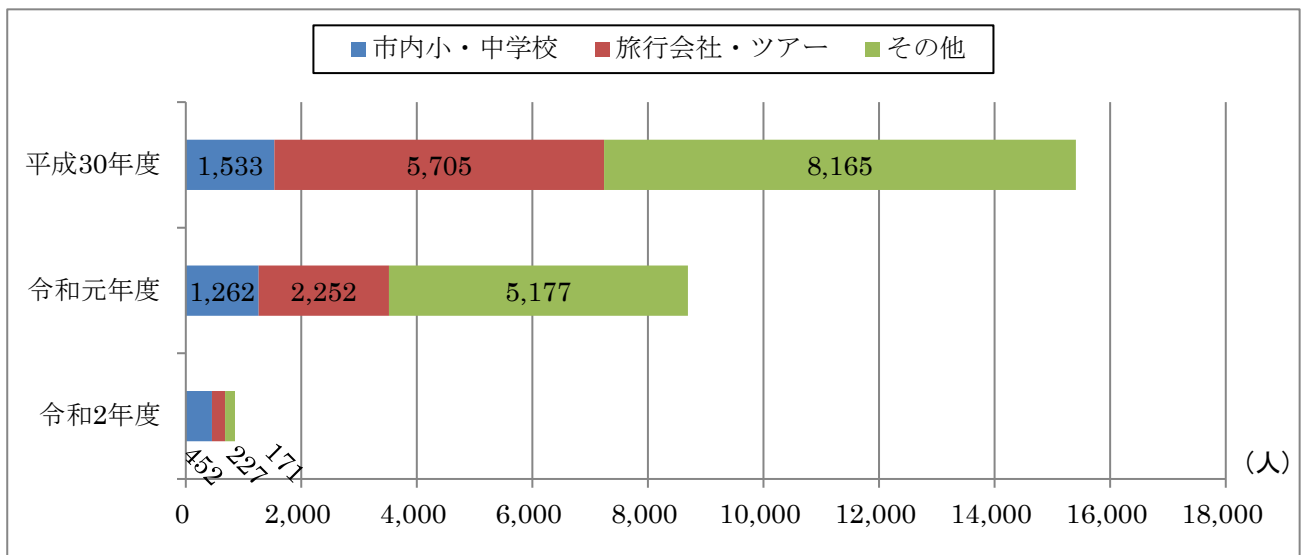
○その他の団体（市内小・中学校を除く）

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	2	8
人数	0	0	0	0	0	0	19	105	0	0	0	47	171

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館で受入中止

4. 年度別・団体別入館者数の推移



5. 年度別・団体別入館者数の割合

